

【4】小佐世保地区を支える団体（平成20年現在）

◎小佐世保校区町内連合会

昭和54年2月に発足した小佐世保校区町内連合会は、小佐世保小学校区にある7ヶ町で構成しています。

年度初めに開催する会長会では、防犯連絡や意見交換等を行っています。また、各町持ち回りで2年間の当番町を務めることになっており、年度当初には各町の役員を招集し、会の運営や活動内容について決定します。当番町は、2年目に三世代によるレクリエーションを計画するなど、町民同士の親睦を図っています。



◎小佐世保地区民生委員児童委員協議会

小佐世保地区民生委員児童委員協議会（民児協）は、友愛訪問をモットーに活動しています。学童の登下校時には、小佐世保・祇園地区安全センター会員と共に各所に立ち、見守りをしています。また、小佐世保小学校で毎月2回開催されている「放課後子ども教室」にも参加協力しています。

民児協の月例会では、事務連絡のほか、地域の問題を出し合い、全員で解決に向けての話し合いをしています。



◎小佐世保・祇園地区安全センター

安全センターは、旧高天交番に平成18年7月30日に開所しました。現在18町1団体から102名のボランティアが、毎日交替で、数時間在所しています。当番日は、帽子・腕章・ジャンパーを着用し、徒歩で往復しながら、子どもだけでなく大人にもあいさつの声かけ運動をしています。その他にも、トイレや空き地、駐車場等の死角になりやすい場所の見回りなど、地域に安全・安心感を与えるように心がけています。夜になると、センター内と入口の赤色灯が自動点灯し、住民を見守っています。



◎7ヶ町婦人部連合会

結成して30余年になる7ヶ町婦人部連合会では、会員相互の融和と女性としての資質向上のために、年間6回研修会等の活動を行っています。20年度は、5月に年間の活動計画を決定し、奇数月ごとに健康講座・各町敬老会のあり方・市政報告会・新年交歓会・反省会を行いました。

7ヶ町が順に当番町となり、楽しく有意義な活動を続けていますが、今後は更に親睦の輪が広がるように努めていきます。



◎小佐世保小学校PTA

小佐世保小学校PTAでは、毎年「親子ふれあい広場」を開催しており、平成20年で12回目となりました。当初は収益による児童のための図書購入を目的にしていたのですが、最近では収益よりも「ふれあい」を中心に行っています。

旭中学校吹奏楽部を招いての演奏会・在校生による空手の演武・バトン・親子対抗スポーツ大会、市環境部による環境コーナーなど様々な内容で、児童・学校・保護者が一体となって楽しく1日を過ごしています。



【5】小佐世保地区福祉対策推進協議会の紹介

どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めている組織です。

小佐世保地区福対協は、昭和53年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員、公民館・自治会、婦人部、老人クラブ、PTA、小・中学校など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

ふれあいネットワーク

近所づきあいが少なくなっていく中、「地域のみんなでお互いに見守り助け合っていきましょう。」という趣旨で、主にひとり暮らしの高齢者を対象とした活動です。

隣近所の方がそれを支えるネットワークの構成員となり、安否確認や話し相手などの活動をしています。

食事サービスボランティア

小佐世保地区には、「白木町自治会婦人部」・「東小佐世保町婦人部」・「東高梨食事サービス」・「西高梨町公民館婦人部」の4つの食事サービスグループがあり、地域のひとり暮らしの高齢者などを対象として、季節に合わせた献立に励ましのことばを添えて、食事を提供しています。

公民館に集まって会食をしたり、自宅にお弁当を配ったりしながら、高齢者などの地域での生活を支援しています。



その他にも、「ひとり暮らし高齢者への年賀状発送」や、小・中学生を対象に「福祉標語の募集」を行い、優秀作品の表彰や地域での掲示なども行っています。

また、子どもたちの登下校時の見守りや声かけ運動などにも積極的に協力しています。

これからは、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。